

五月のおひょう

「長し」と書きだくなる様な今年の連休でした。皆さんは、どう過ごされましたか。

「トーストでは、油揚げはもう梅雨入りだとか。季節の移り変わり、早くも初夏。

美味なお店

先月は、以前から気になるお店 長門市仙崎にある「伊織」に行ってみました。蕎麦の美味い店と聞けば、「行かなければ」となる蕎麦屋であります。趣味で始められた感じの店ですが、蕎麦は実に美味いものだった。最初は、麵つゆを汁けないで、蕎麦そのものを味わうのですが、いかにも普通の「汁けないで」。ところが、実は美味い。この一口三口一口一口も美味しい。美味い。」

このお店は、もう一軒

むらさき なかむら」へ足を運び

ました。この店は休日なので。

残念です。早く来よう」

鹿野 漢陽寺

三月の立ち寄った漢陽寺 今日は、中に入ってみました。連休中なのに観光客も少なく、閑散としています。つ用の方は、呼び鈴を押しただけで書いてあります。その通りで、押しあてますが、係りの人は、なかなか出てきません。数分後やっと出てきました。のんびりしている。拝観料を払い中入ります。綺麗なお寺です。ここからとても多くの香が漂います。本堂正面のお田当りの庭がありました。思ったよりつぎつぎといた庭です。新しい感じがします。近年造営されたみたいですね。本堂の裏にある潮

吉洞 「これ、1654年(承応3

年)に、時の代官であった岩崎惣左衛門重友が、鹿野村一帯の繁栄のために、錦川上流の水を引くために造った導水路です。

本流からの水路200m、裏山800mのトンネルを経る清らかな水が、300年以上もこの地を潤っています。「この説明文 なるほど。それにしても勢い良く流れ出る水 マイナスイオンがふれるように出ているよね。きつこ。心が洗われるような気持ちの良い場所でした。



近くにある二所山田神社 観光案内によると、参道の巨木があるらしい。それでは行ってみる(笑)。「むらさき」杉だるうか巨木が立ち並んでいます。重源が奈良の東大寺建立のために徳地で伐採した材木もこの地を訪れたら持つて行ったかも。いや、神社の木々だから手が出せなかつた。

これだけの巨木 当時も相当大きな木だったに違いないと勝手に手な想像。

鹿野のまち 連休中なのにまばらな観光客 でもこれがこの町の魅力なのかも。

古江小路 桂月

今日は、日曜日 下関へ向かいます。県内の美味しい蕎麦屋さんはまだあるかなとチェックを見つけたお店です。数日前に予



約しています。書き込みは何回も予約できなかったとあったからです。長府に到着。石畳の道 両側は、武家屋敷らしい佇まい。大きな看板もなく、探し回り、見つけました。やっと見つけたことだ「暖簾をくぐり中入。改築され、新しい感じのお店でした。玄関先に仲居さん。笑顔で迎えてくれました。『ひな料理が出てくるのだらう(愉)ち」

手打ちそばをメインにした御膳 先付から始まり夕暮。

味噌田楽も美味しかったです。お腹いっぱい。お風からリッシュを味わいました。満足。

まだ時間があります。炭流島に行くつもりでした。下関に来ると良く耳にするのですが、行ったことがありません。今日は、是非にこのことで、唐戸に向かいます。シーサイドライヤは、観光客であふれています。しばらく待った後、棧橋より観光船で島に渡ります。海は波が高く揺れます。さて、島の感想は「ここが決闘があった場所は・・・。強い風に立ち向かいの散策でした。まあ来たこの意義ありできれいに整備されていました。

県内には、まだまだ美味しい蕎麦屋さんをこの想い(こ)はありたいです。探します。お茶の時間。わんぱく(こ)行(こ)かな。

堅小路 蕎麦屋